

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-421
研究課題名 再発子宮頸がんにおけるプラチナ製剤 free 期間が化学療法の効果に及ぼす影響の後方視的検討
研究期間 西暦 2014 年 10 月（倫理委員会承認後）～ 2014 年 12 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（カルテデータ)
上記材料の採取期間 西暦 2008 年 01 月～ 2012 年 12 月
意義、目的 【意義】再発・再燃子宮頸がんを多施設で集積し、データを解析することによって、将来の治療に役立てることができます。 【目的】子宮頸がんにおけるプラチナ製剤 free 期間と治療成績の関係を解析し、今後の薬剤選択などに役立てることが目的です。
方法 【対象】2008 年から 2012 年の間に東北大学病院で子宮頸がん再発・再燃と診断され、プラチナ製剤を含む化学療法を行った方です。 【方法】カルテから年齢や、診断結果、検査結果、臨床経過などを抽出し、データセンター（静岡県立静岡がんセンター）に提出します。データセンターで、情報を集積、解析し、学術的な発表、報告を行う予定です。個人につながる情報は提出しません。診療録から個人情報をもとに本研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、得られた情報は個人が特定されないようにデータベース化したうえで、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院 婦人科 徳永 英樹 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 電話：022-717-7745